

審査等業務の過程に関する記録

医療法人社団優恵会特定認定再生医療等委員会

1. 開催日時・場所

日時：2026年6月19日（金） 19:00～19:30

場所：東京都品川区西五反田 4-31-17 MY ビル 4F 医療法人社団優恵会及び Web

2. 出席者

氏名	特定再生医療認定 委員会の場合	第三種再生医療等提供 計画のみに係る審査等 業務を行う場合	男女	出欠席
井上 肇	②再生医療等	a-1. 医学・医療 1	男	×
寺村 岳士	②再生医療等	a-1. 医学・医療 1	男	○
大島 秀男	②再生医療等	a-1. 医学・医療 1	男	○
村上 富美子	③臨床医	a-2. 医学・医療 2	女	○
廣瀬 嘉恵	③臨床医	a-2. 医学・医療 2	女	×
市橋 正光	③臨床医	a-2. 医学・医療 2	男	×
矢澤 華子	①分子生物学等	a-2. 医学・医療 2	女	○
高浦 彩那	④細胞培養加工	c. 一般	女	○
住江 玲奈	④細胞培養加工	c. 一般	女	○
井花 久守	⑤法律	b. 法律・生命倫理	男	○
相羽 利昭	⑥生命倫理	b. 法律・生命倫理	男	○
井上 永介	⑦生物統計等	c. 一般	男	○
山崎 美千子	⑧一般	c. 一般	女	○

※1 再生医療等の安全性の確保等に関する法律施行規則（平成二十六年九月二十六日厚生労働省令第百十号）改正後第六十三条の規定する開催要件を充足している。

※2 役務提供者は本審議には参加していない。

3. 技術専門員

別府 諸兄

4. 再生医療等提供計画を提出した医療機関の名称・管理者

Clinique Haru Kyoto

西田 晴彦

5. 議題（区分）
再生医療等提供計画書の審査（新規申請）

6. 治療/研究名・分類
変形性関節症・関節炎に対する多血小板血漿（PRP）投与療法
変形性関節症に対する自己脂肪組織由来間葉系間質細胞投与療法
整形外科領域における外傷性疾患又は変性疾患による慢性疼痛緩和を目的とした自己脂肪組織由来間葉系間質細胞の静脈点滴治療

7. 審査書類の受領日
2026 年 05 月 19 日

8. 議論の概要と意見

新規申請だがクリニック移転に伴う同一利用技術の再申請である。
移転による再申請に伴いクリニック内の細胞培養加工施設の届出が行われている。
医療機関内に設置される細胞加工施設の届出が受理されるまで、意見書は発行しないこと
で審査を行なった。

変形性関節症・関節炎に対する多血小板血漿（PRP）投与療法

【議論の概要】

1. 技術専門員の評価
クリニック移転に伴う再申請であり、技術は前医療機関から完全踏襲されており、適正と判断した。
2. 適応症について
変更のないことを確認した。
3. 選択・除外基準
変更のないことを確認した。
4. 実施医師又は歯科医師の適格性
変更のないことを確認した。
5. 細胞加工物
変更のないことを確認した。
6. 投与方法
変更のないことを確認した。
7. 評価基準・経過観察
変更のないことを確認した。
8. 他の治療との比較

変更のないことを確認した。

9. 細胞加工施設

衛生管理基準書を確認し、問題はなかった。

10. その他

変更のないことを確認した。

【指摘事項】

新規申請だがクリニック移転に伴う同一利用技術の再申請のため特に問題はないと意見された。

【意見】

委員会として、申請書類及び修正された書類を出席委員が確認し、適正と判断した。

変形性関節症に対する自己脂肪組織由来間葉系間質細胞投与療法

【議論の概要】

1. 技術専門員の評価

クリニック移転に伴う再申請であり、技術は前医療機関から完全踏襲されており、適正と判断した。

2. 適応症について

変更のないことを確認した。

3. 選択・除外基準

変更のないことを確認した。

4. 実施医師又は歯科医師の適格性

変更のないことを確認した。

5. 細胞加工物

脂肪組織の採取方法、細胞製剤納品方法に変更があった。
基準を満たすため妥当と判断した。

6. 投与方法

変更のないことを確認した。

7. 評価基準・経過観察

変更のないことを確認した。

8. 他の治療との比較

変更のないことを確認した。

9. 細胞加工施設

衛生管理基準書を確認し、問題はなかった。

10. その他

変更のないことを確認した。

【指摘事項】

新規申請だがクリニック移転に伴う同一利用技術の再申請のため特に問題はないと意見された。

再生医療の詳細を記した書類の出荷と投与の方法に関して、誤記が認められたため、削除等適切に統一化すること。

【意見】

委員会として、申請書類及び修正された書類を出席委員が確認し、適正と判断した。

整形外科領域における外傷性疾患又は変性疾患による慢性疼痛緩和を目的とした自己脂肪組織由来間葉系間質細胞の静脈点滴治療

【議論の概要】

1. 技術専門員の評価

クリニック移転に伴う再申請であり、技術は前医療機関から完全踏襲されており、適正と判断した。

常に最新の 2 種類のガイドラインに従い、心理社会性疼痛ならびに侵害受容性の疼痛を除外した患者のみに限定して慎重に治療を実施すること。

2. 適応症について

変更のないことを確認した。

3. 選択・除外基準

変更のないことを確認した。

4. 実施医師又は歯科医師の適格性

変更のないことを確認した。

5. 細胞加工物

脂肪組織の採取方法、細胞製剤納品方法に変更があった。

基準を満たすため妥当と判断した。

6. 投与方法

変更のないことを確認した。

7. 評価基準・経過観察

変更のないことを確認した。

8. 他の治療との比較

変更のないことを確認した。

9. 細胞加工施設

衛生管理基準書を確認し、問題はなかった。

10. その他

安全性妥当性の評価項目に安全管理対策を追記されていた。

【指摘事項】

新規申請だがクリニック移転に伴う同一利用技術の再申請のため特に問題はないと意見された。

常に最新の 2 種類のガイドラインに従い、心理社会性疼痛ならびに侵害受容性の疼痛を除外した患者のみに限定して慎重に治療を実施すること。

【意見】

委員会として、申請書類及び修正された書類を出席委員が確認し、適正と判断した。

審査等業務の過程に関する記録

医療法人社団優惠会特定認定再生医療等委員会

1. 開催日時・場所

日時：2026 年 6 月 19 日（金） 19：30～19：45

場所：東京都品川区西五反田 4-31-17 MY ビル 4F 医療法人社団優惠会及び Web

2. 出席者

氏名	特定再生医療認定 委員会の場合	第三種再生医療等提供 計画のみに係る審査等 業務を行う場合	男女	出欠席
井上 肇	②再生医療等	a-1. 医学・医療 1	男	×
寺村 岳士	②再生医療等	a-1. 医学・医療 1	男	○
大島 秀男	②再生医療等	a-1. 医学・医療 1	男	○
村上 富美子	③臨床医	a-2. 医学・医療 2	女	○
廣瀬 嘉恵	③臨床医	a-2. 医学・医療 2	女	×
市橋 正光	③臨床医	a-2. 医学・医療 2	男	×
矢澤 華子	①分子生物学等	a-2. 医学・医療 2	女	○
高浦 彩那	④細胞培養加工	c. 一般	女	○
住江 玲奈	④細胞培養加工	c. 一般	女	○
井花 久守	⑤法律	b. 法律・生命倫理	男	○
相羽 利昭	⑥生命倫理	b. 法律・生命倫理	男	○
井上 永介	⑦生物統計等	c. 一般	男	○
山崎 美千子	⑧一般	c. 一般	女	○

※1 再生医療等の安全性の確保等に関する法律施行規則（平成二十六年九月二十六日厚生労働省令第百十号）改正後第六十三条の規定する開催要件を充足している。

※2 役務提供者は本審議には参加していない。

3. 技術専門員

該当なし

4. 再生医療等提供計画を提出した医療機関の名称・管理者

5. 議題（区分）
再生医療提供計画の審査（定期報告）

6. 治療/研究名・分類
自己脂肪組織由来間葉系幹細胞を用いたアトピー性皮膚炎の治療
自己脂肪由来間葉系幹細胞を用いた皮膚再生治療
自己線維芽細胞を用いた皮膚再生治療（0件）

7. 審査書類の受領日
2026年5月14日

8. 議論の概要と意見

自己脂肪組織由来間葉系幹細胞を用いたアトピー性皮膚炎の治療

【議論の概要】

1. 再生医療等に関わる疾病等の発生状況及びその後の経過
当該技術に因果関係を有する疾病等の発生は報告されなかった。
2. 再生医療等に関わる不適合の発生状況及びその後の経過
不適合は報告されなかった。
3. 再生医療等の安全性についての評価
当該再生医療技術に因果関係を疑わせる、または因果関係を認める有害事象を認めず、一定の安全性を有していたとの報告があった。
4. 再生医療等の科学的妥当性についての評価（提供計画に記載した科学的妥当性の評価方法に沿って記載）
EASI スコアでは6ヶ月後の平均改善率は57.5%、POEM スコアについては、6ヶ月後の平均改善率は50%症例が改善した。全例有害事象は認めず当該再生医療は一定の有効性を有していると判断した。
前項の通り、再生医療等は安全性を有していると考えられ、再生医療等の有効性と安全性が治療におけるリスクを上回り、再生医療等は科学的妥当性を有していると評価した。

【指摘事項】

科学的妥当性の表現を修正すること。

【意見】

定期報告書類を出席委員が確認し、委員会として定期報告を適正と判断し、次年度継続提供も適正と判断した。

自己脂肪由来間葉系幹細胞を用いた皮膚再生治療

【議論の概要】

1. 再生医療等に関わる疾病等の発生状況及びその後の経過
当該技術に因果関係を有する疾病等の発生は報告されなかった。
2. 再生医療等に関わる不適合の発生状況及びその後の経過
不適合は報告されなかった。
3. 再生医療等の安全性についての評価
当該再生医療技術に因果関係を疑わせる、または因果関係を認める有害事象を認めず、一定の安全性を有していたとの報告があった。
4. 再生医療等の科学的妥当性についての評価（提供計画に記載した科学的妥当性の評価方法に沿って記載）
症例が限定で報告として、本治療により瘢痕の改善および肌質が向上した。2例とも有害事象は認めなかった。
少なくとも、この2例については疾病・不適合は認めておらず、投与後に有害事象も発生しなかった。再生医療の科学的妥当性は今後の症例により判断される。

【指摘事項】

科学的妥当性の表現を修正すること。

【意見】

定期報告書類を出席委員が確認し、委員会として定期報告を適正と判断し、次年度継続提供も適正と判断した。

自己線維芽細胞を用いた皮膚再生治療（0件）

【議論の概要】

1. 再生医療等に関わる疾病等の発生状況及びその後の経過
0件のため非該当。
2. 再生医療等に関わる不適合の発生状況及びその後の経過
0件のため非該当。
3. 再生医療等の安全性についての評価
0件のため非該当。
4. 再生医療等の科学的妥当性についての評価（提供計画に記載した科学的妥当性の評価方法に沿って記載）
0件のため非該当。

【指摘事項】

特になし。

【意見】

定期報告書類を出席委員が確認し、委員会として定期報告を適正と判断し、次年度継続提供も適正と判断した。

審査等業務の過程に関する記録

医療法人社団優恵会特定認定再生医療等委員会

1. 開催日時・場所

日時：日時：2026 年 6 月 19 日（金） 19：45～19：50

場所：東京都品川区西五反田 4-31-17 MY ビル 4F 医療法人社団優恵会及び Web

2. 出席者

氏名	特定再生医療認定 委員会の場合	第三種再生医療等提供 計画のみに係る審査等 業務を行う場合	男女	出欠席
井上 肇	②再生医療等	a-1. 医学・医療 1	男	○
寺村 岳士	②再生医療等	a-1. 医学・医療 1	男	○
大島 秀男	②再生医療等	a-1. 医学・医療 1	男	○
村上 富美子	③臨床医	a-2. 医学・医療 2	女	○
廣瀬 嘉恵	③臨床医	a-2. 医学・医療 2	女	○
市橋 正光	③臨床医	a-2. 医学・医療 2	男	×
矢澤 華子	①分子生物学等	a-2. 医学・医療 2	女	○
高浦 彩那	④細胞培養加工	c. 一般	女	○
住江 玲奈	④細胞培養加工	c. 一般	女	○
井花 久守	⑤法律	b. 法律・生命倫理	男	○
相羽 利昭	⑥生命倫理	b. 法律・生命倫理	男	○
井上 永介	⑦生物統計等	c. 一般	男	○
山崎 美千子	⑧一般	c. 一般	女	○

※1 再生医療等の安全性の確保等に関する法律施行規則（平成二十六年九月二十六日厚生労働省令第百十号）改正後第六十三条の規定する開催要件を充足している。

※2 役務提供者は本審議には参加していない。

3. 技術専門員

該当なし

4. 再生医療等提供計画を提出した医療機関の名称・管理者

社会医療法人大雄会 総合大雄会病院
伊藤 伸一

5. 議題（区分）

再生医療提供計画の審査（定期報告）

6. 治療/研究名・分類

多血小板血漿による子宮内膜に対する不妊治療

7. 審査書類の受領日

2026 年 5 月 15 日

8. 議論の概要と意見

多血小板血漿による子宮内膜に対する不妊治療

【議論の概要】

1. 再生医療等に関わる疾病等の発生状況及びその後の経過

当該技術に因果関係を有する疾病等の発生は報告されなかった。

2. 再生医療等に関わる不適合の発生状況及びその後の経過

不適合は報告されなかった。

3. 再生医療等の安全性についての評価

当該再生医療技術に因果関係を疑わせる、または因果関係を認める有害事象を認めず、一定の安全性を有していたとの報告があった。

4. 再生医療等の科学的妥当性についての評価（提供計画に記載した科学的妥当性の評価方法に沿って記載）

少ない症例数のため統計的評価は不可能であるが PRP による内膜再生効果が認められた周期に妊娠成立を認めた。

全例有害事象は認めず当該再生医療は一定の有効性を有していると判断した。

前項の通り、再生医療等は安全性を有していると考えられ、再生医療等の有効性と安全性が治療におけるリスクを上回り、再生医療等は科学的妥当性を有していると評価した。

【指摘事項】

特になし。

【意見】

定期報告書類を出席委員が確認し、委員会として定期報告を適正と判断し、次年度継続提供も適正と判断した。

審査等業務の過程に関する記録

医療法人社団優恵会特定認定再生医療等委員会

1. 開催日時・場所

日時：2026年6月19日（金） 19：50～20：00

場所：東京都品川区西五反田 4-31-17 MY ビル 4F 医療法人社団優恵会及び Web

2. 出席者

氏名	特定再生医療認定 委員会の場合	第三種再生医療等提供 計画のみに係る審査等 業務を行う場合	男女	出欠席
井上 肇	②再生医療等	a-1. 医学・医療 1	男	×
寺村 岳士	②再生医療等	a-1. 医学・医療 1	男	○
大島 秀男	②再生医療等	a-1. 医学・医療 1	男	○
村上 富美子	③臨床医	a-2. 医学・医療 2	女	○
廣瀬 嘉恵	③臨床医	a-2. 医学・医療 2	女	×
市橋 正光	③臨床医	a-2. 医学・医療 2	男	×
矢澤 華子	①分子生物学等	a-2. 医学・医療 2	女	○
高浦 彩那	④細胞培養加工	c. 一般	女	○
住江 玲奈	④細胞培養加工	c. 一般	女	○
井花 久守	⑤法律	b. 法律・生命倫理	男	○
相羽 利昭	⑥生命倫理	b. 法律・生命倫理	男	○
井上 永介	⑦生物統計等	c. 一般	男	○
山崎 美千子	⑧一般	c. 一般	女	○

※1 再生医療等の安全性の確保等に関する法律施行規則（平成二十六年九月二十六日厚生労働省令第百十号）改正後第六十三条の規定する開催要件を充足している。

※2 役務提供者は本審議には参加していない。

3. 技術専門員

該当なし

4. 再生医療等提供計画を提出した医療機関の名称・管理者

フォーシーズンズ美容皮膚科クリニック東京竹芝院
柏原 俊博

5. 議題（区分）
再生医療提供計画の審査（定期報告）

6. 治療/研究名・分類
自己線維芽細胞を用いた再生医療技術による皮膚醜形治療

7. 審査書類の受領日
2026 年 5 月 1 日

8. 議論の概要と意見

自己線維芽細胞を用いた再生医療技術による皮膚醜形治療

【議論の概要】

1. 再生医療等に関わる疾病等の発生状況及びその後の経過
当該技術に因果関係を有する疾病等の発生は報告されなかった。
2. 再生医療等に関わる不適合の発生状況及びその後の経過
不適合は報告されなかった。
3. 再生医療等の安全性についての評価
当該再生医療技術に因果関係を疑わせる、または因果関係を認める有害事象を認めず、一定の安全性を有していたとの報告があった。
4. 再生医療等の科学的妥当性についての評価（提供計画に記載した科学的妥当性の評価方法に沿って記載）
評価の結果、67%の症例が改善した。全例有害事象は認めず当該再生医療は一定の有効性を有していると判断した。
前項の通り、再生医療等は安全性を有していると考えられ、再生医療等の有効性と安全性が治療におけるリスクを上回り、再生医療等は科学的妥当性を有していると評価した。

【指摘事項】

評価する部位を分類してまとめるように修正すること。
資料内に複数回投与患者が混在しているため明確にすること。分類してまとめること。
医師評価・患者評価を分けて記載すること。

【意見】

定期報告書類を出席委員が確認し、委員会として定期報告を適正と判断し、次年度継続提供も適正と判断した。

審査等業務の過程に関する記録

医療法人社団優恵会特定認定再生医療等委員会

1. 開催日時・場所

日時：日時： 2026 年 6 月 19 日（金） 20：00～20：10

場所：東京都品川区西五反田 4-31-17 MY ビル 4F 医療法人社団優恵会及び Web

2. 出席者

氏名	特定再生医療認定 委員会の場合	第三種再生医療等提供 計画のみに係る審査等 業務を行う場合	男女	出欠席
井上 肇	②再生医療等	a-1. 医学・医療 1	男	×
寺村 岳士	②再生医療等	a-1. 医学・医療 1	男	○
大島 秀男	②再生医療等	a-1. 医学・医療 1	男	○
村上 富美子	③臨床医	a-2. 医学・医療 2	女	○
廣瀬 嘉恵	③臨床医	a-2. 医学・医療 2	女	×
市橋 正光	③臨床医	a-2. 医学・医療 2	男	×
矢澤 華子	①分子生物学等	a-2. 医学・医療 2	女	○
高浦 彩那	④細胞培養加工	c. 一般	女	○
住江 玲奈	④細胞培養加工	c. 一般	女	○
井花 久守	⑤法律	b. 法律・生命倫理	男	○
相羽 利昭	⑥生命倫理	b. 法律・生命倫理	男	○
井上 永介	⑦生物統計等	c. 一般	男	○
山崎 美千子	⑧一般	c. 一般	女	○

※1 再生医療等の安全性の確保等に関する法律施行規則(平成二十六年九月二十六日厚生労働省令第百十号)改正後第六十三条の規定する開催要件を充足している。

※2 役務提供者は本審議には参加していない。

3. 技術専門員

該当なし

4. 再生医療等提供計画を提出した医療機関の名称・管理者

銀座よしえクリニック銀座院	吉田 浩子
銀座よしえクリニック大岡山院	氷見 和巳
銀座よしえクリニック都立大院	山中 美由
銀座よしえクリニック表参道院	小松 佳子
銀座よしえクリニック池袋院	佐藤 麻以
銀座よしえクリニック横浜院	井関 みなみ
銀座よしえクリニック新宿院	川田 萌香
銀座よしえクリニック六本木院	浅井 友美子

5. 議題（区分）
再生医療提供計画の審査（変更申請）

6. 治療/研究名・分類
多血小板血漿を用いた皮膚再生治療

7. 審査書類の受領日
2026 年 05 月 14 日

8. 議論の概要と意見

多血小板血漿を用いた皮膚再生治療

【議論の概要】

上記 8 医療機関全て同一技術で実施されており、同時に変更申請された。

1. 技術専門員の評価
変更申請であり不要である。

2. 適応症について
変更なし

3. 選択・除外基準
再生医療を受ける者に除外基準の追加があった。

4. 実施医師又は歯科医師の適格性
医師・管理者の変更に伴う略歴を確認した。

5. 細胞加工物
変更なし

6. 投与方法
変更なし

7. 評価基準・経過観察
改正法律に準拠して再生医療等の妥当性に評価項目の記載部位が移動された。

8. 他の治療との比較

変更なし

9. 細胞加工施設

変更なし

10. その他

変更に関わらない部分においては、現行通りである。

【指摘事項】

教育訓練の完了日を記載すること。

【意見】

委員会として変更申請書類を出席委員が確認し、適正と判断した。

審査等業務の過程に関する記録

医療法人社団優恵会特定認定再生医療等委員会

1. 開催日時・場所

日時：2026 年 6 月 19 日（金） 20：10～20：15

場所：東京都品川区西五反田 4-31-17 MY ビル 4F 医療法人社団優恵会及び Web

2. 出席者

氏名	特定再生医療認定 委員会の場合	第三種再生医療等提供 計画のみに係る審査等 業務を行う場合	男女	出欠席
井上 肇	②再生医療等	a-1. 医学・医療 1	男	○
寺村 岳士	②再生医療等	a-1. 医学・医療 1	男	○
大島 秀男	②再生医療等	a-1. 医学・医療 1	男	○
村上 富美子	③臨床医	a-2. 医学・医療 2	女	○
廣瀬 嘉恵	③臨床医	a-2. 医学・医療 2	女	○
市橋 正光	③臨床医	a-2. 医学・医療 2	男	×
矢澤 華子	①分子生物学等	a-2. 医学・医療 2	女	○
高浦 彩那	④細胞培養加工	c. 一般	女	○
住江 玲奈	④細胞培養加工	c. 一般	女	○
井花 久守	⑤法律	b. 法律・生命倫理	男	○
相羽 利昭	⑥生命倫理	b. 法律・生命倫理	男	○
井上 永介	⑦生物統計等	c. 一般	男	○
山崎 美千子	⑧一般	c. 一般	女	○

※1 再生医療等の安全性の確保等に関する法律施行規則(平成二十六年九月二十六日厚生労働省令第百十号)改正後第六十三条の規定する開催要件を充足している。

※2 役務提供者は本審議には参加していない。

3. 技術専門員

該当なし

4. 再生医療等提供計画を提出した医療機関の名称・管理者

医療法人社団福亀会 福住整形外科クリニック
亀田 和利

5. 議題（区分）

再生医療提供計画の審査（定期報告）

6. 治療/研究名・分類

変形性関節症に対する多血小板血漿（P R P）関節内投与療法

7. 審査書類の受領日

2026 年 4 月 21 日

8. 議論の概要と意見

変形性関節症に対する多血小板血漿（P R P）関節内投与療法

【議論の概要】

1. 再生医療等に関わる疾病等の発生状況及びその後の経過
当該技術に因果関係を有する疾病等の発生は報告されなかった。

2. 再生医療等に関わる不適合の発生状況及びその後の経過
不適合は報告されなかった。

3. 再生医療等の安全性についての評価
当該再生医療技術に因果関係を疑わせる、または因果関係を認める有害事象を認めず、一定の安全性を有していたとの報告があった。

4. 再生医療等の科学的妥当性についての評価（提供計画に記載した科学的妥当性の評価方法に沿って記載）

VAS による評価で 50%の症例に改善を認めた。全例有害事象は認めず当該再生医療は一定の有効性を有していると判断した。

前項の通り、再生医療等は安全性を有していると考えられ、再生医療等の有効性と安全性が治療におけるリスクを上回り、再生医療等は科学的妥当性を有していると評価した。

【指摘事項】

特になし。

【意見】

定期報告書類を出席委員が確認し、委員会として定期報告を適正と判断し、次年度継続提供も適正と判断した。

審査等業務の過程に関する記録

医療法人社団優恵会特定認定再生医療等委員会

1. 開催日時・場所

日時：2026年6月19日（金） 20：15～20：25

場所：東京都品川区西五反田 4-31-17 MY ビル 4F 医療法人社団優恵会及びWeb

2. 出席者

氏名	特定再生医療認定 委員会の場合	第三種再生医療等提供 計画のみに係る審査等 業務を行う場合	男女	出欠席
井上 肇	②再生医療等	a-1. 医学・医療 1	男	○
寺村 岳士	②再生医療等	a-1. 医学・医療 1	男	○
大島 秀男	②再生医療等	a-1. 医学・医療 1	男	○
村上 富美子	③臨床医	a-2. 医学・医療 2	女	○
廣瀬 嘉恵	③臨床医	a-2. 医学・医療 2	女	○
市橋 正光	③臨床医	a-2. 医学・医療 2	男	×
矢澤 華子	①分子生物学等	a-2. 医学・医療 2	女	○
高浦 彩那	④細胞培養加工	c. 一般	女	○
住江 玲奈	④細胞培養加工	c. 一般	女	○
井花 久守	⑤法律	b. 法律・生命倫理	男	○
相羽 利昭	⑥生命倫理	b. 法律・生命倫理	男	○
井上 永介	⑦生物統計等	c. 一般	男	○
山崎 美千子	⑧一般	c. 一般	女	○

※1 再生医療等の安全性の確保等に関する法律施行規則（平成二十六年九月二十六日厚生労働省令第百十号）改正後第六十三条の規定する開催要件を充足している。

※2 役務提供者は本審議には参加していない。

※3 池友会および外注先（林医療福祉行政書士事務所）と医療法人社団優恵会特定認定再生医療等委員会との関係に利害関係はない。

3. 技術専門員

該当なし

4. 再生医療等提供計画を提出した医療機関の名称・管理者
社会医療法人財団池友会 新小文字病院
高橋 雄一

5. 議題（区分）
再生医療提供計画の審査（定期報告）

6. 治療/研究名・分類
変形性関節症に対する多血小板血漿（PRP）関節内投与療法

7. 審査書類の受領日
2026 年 5 月 15 日

8. 議論の概要と意見

変形性関節症に対する多血小板血漿（PRP）関節内投与療法

【議論の概要】

1. 再生医療等に関わる疾病等の発生状況及びその後の経過
当該技術に因果関係を有する疾病等の発生は報告されなかった。
2. 再生医療等に関わる不適合の発生状況及びその後の経過
不適合は報告されなかった。
3. 再生医療等の安全性についての評価
当該再生医療技術に因果関係を疑わせる、または因果関係を認める有害事象を認めず、一定の安全性を有していたとの報告があった。
4. 再生医療等の科学的妥当性についての評価（提供計画に記載した科学的妥当性の評価方法に沿って記載）
で全症例に一律の改善が認められなかったが、評価可能症例の一定割合において疼痛及びADLにVAS評価の改善が見られた。
全例有害事象は認めず当該再生医療は一定の有効性を有していると判断した。
前項の通り、再生医療等は安全性を有していると考えられ、再生医療等の有効性と安全性が治療におけるリスクを上回り、再生医療等は科学的妥当性を有していると評価した。

【指摘事項】

添付書類の個人情報消すこと。
統計の方法を修正すること。

【意見】

定期報告書類を出席委員が確認し、委員会として定期報告を適正と判断し、次年度継続提供も適正と判断した。

審査等業務の過程に関する記録

医療法人社団優恵会特定認定再生医療等委員会

1. 開催日時・場所

日時：2026 年 6 月 19 日（金） 20：25～20：35

場所：東京都品川区西五反田 4-31-17 MY ビル 4F 医療法人社団優恵会及び Web

2. 出席者

氏名	特定再生医療認定 委員会の場合	第三種再生医療等提供 計画のみに係る審査等 業務を行う場合	男女	出欠席
井上 肇	②再生医療等	a-1. 医学・医療 1	男	○
寺村 岳士	②再生医療等	a-1. 医学・医療 1	男	○
大島 秀男	②再生医療等	a-1. 医学・医療 1	男	○
村上 富美子	③臨床医	a-2. 医学・医療 2	女	○
廣瀬 嘉恵	③臨床医	a-2. 医学・医療 2	女	○
市橋 正光	③臨床医	a-2. 医学・医療 2	男	×
矢澤 華子	①分子生物学等	a-2. 医学・医療 2	女	○
高浦 彩那	④細胞培養加工	c. 一般	女	○
住江 玲奈	④細胞培養加工	c. 一般	女	○
井花 久守	⑤法律	b. 法律・生命倫理	男	○
相羽 利昭	⑥生命倫理	b. 法律・生命倫理	男	○
井上 永介	⑦生物統計等	c. 一般	男	○
山崎 美千子	⑧一般	c. 一般	女	○

※1 再生医療等の安全性の確保等に関する法律施行規則（平成二十六年九月二十六日厚生労働省令第百十号）改正後第六十三条の規定する開催要件を充足している。

※2 役務提供者は本審議には参加していない。

3. 技術専門員

該当なし

4. 再生医療等提供計画を提出した医療機関の名称・管理者

医療法人 桜康会 三宮整形外科医院
三宮 貴彦

5. 議題（区分）

再生医療提供計画の審査（定期報告）

6. 治療/研究名・分類

変形性関節症に対する多血小板血漿（P R P）関節内投与療法

7. 審査書類の受領日

2026 年 4 月 23 日

8. 議論の概要と意見

変形性関節症に対する多血小板血漿（P R P）関節内投与療法

【議論の概要】

1. 再生医療等に関わる疾病等の発生状況及びその後の経過

当該技術に因果関係を有する疾病等の発生は報告されなかった。

2. 再生医療等に関わる不適合の発生状況及びその後の経過

不適合は報告されなかった。

3. 再生医療等の安全性についての評価

当該再生医療技術に因果関係を疑わせる、または因果関係を認める有害事象を認めず、一定の安全性を有していたとの報告があった。

4. 再生医療等の科学的妥当性についての評価（提供計画に記載した科学的妥当性の評価方法に沿って記載）

VAS による評価の結果、膝関節では 68%が改善した。肩関節でも改善したが症例数が少ないため有効性の評価はできない。全例有害事象は認めず当該再生医療は一定の有効性を有していると判断した。

前項の通り、再生医療等は安全性を有していると考えられ、再生医療等の有効性と安全性が治療におけるリスクを上回り、再生医療等は科学的妥当性を有していると評価した。

【指摘事項】

VAS 評価の改善基準を確認し必要に応じて修正すること。

評価の基準を理解しやすく修正すること。

投与部位別に分けて評価すること。

【意見】

定期報告書類を出席委員が確認し、委員会として定期報告を適正と判断し、次年度継続提供も適正と判断した。

審査等業務の過程に関する記録

医療法人社団優惠会特定認定再生医療等委員会

1. 開催日時・場所

日時：2026 年 6 月 19 日（金） 20：35～20：40

場所：東京都品川区西五反田 4-31-17 MY ビル 4F 医療法人社団優惠会及び Web

2. 出席者

氏名	特定再生医療認定 委員会の場合	第三種再生医療等提供 計画のみに係る審査等 業務を行う場合	男女	出欠席
井上 肇	②再生医療等	a-1. 医学・医療 1	男	○
寺村 岳士	②再生医療等	a-1. 医学・医療 1	男	×
大島 秀男	②再生医療等	a-1. 医学・医療 1	男	○
村上 富美子	③臨床医	a-2. 医学・医療 2	女	○
廣瀬 嘉恵	③臨床医	a-2. 医学・医療 2	女	○
市橋 正光	③臨床医	a-2. 医学・医療 2	男	×
矢澤 華子	①分子生物学等	a-2. 医学・医療 2	女	○
高浦 彩那	④細胞培養加工	c. 一般	女	○
住江 玲奈	④細胞培養加工	c. 一般	女	○
井花 久守	⑤法律	b. 法律・生命倫理	男	○
相羽 利昭	⑥生命倫理	b. 法律・生命倫理	男	○
井上 永介	⑦生物統計等	c. 一般	男	○
山崎 美千子	⑧一般	c. 一般	女	○

※1 再生医療等の安全性の確保等に関する法律施行規則（平成二十六年九月二十六日厚生労働省令第百十号）改正後第六十三条の規定する開催要件を充足している。

※2 役務提供者は本審議には参加していない。

3. 技術専門員

該当なし

4. 再生医療等提供計画を提出した医療機関の名称・管理者

ねもと皮フ科・形成外科

根本 美穂

5. 議題（区分）

再生医療提供計画の審査（定期報告）

6. 治療/研究名・分類

脂肪由来間葉系細胞を用いた末梢神経障害性疼痛に対する細胞治療

7. 審査書類の受領日

2026 年 5 月 18 日

8. 議論の概要と意見

脂肪由来間葉系細胞を用いた末梢神経障害性疼痛に対する細胞治療

【議論の概要】

1. 再生医療等に関わる疾病等の発生状況及びその後の経過

0 件のため非該当。

2. 再生医療等に関わる不適合の発生状況及びその後の経過

0 件のため非該当。

3. 再生医療等の安全性についての評価

0 件のため非該当。

4. 再生医療等の科学的妥当性についての評価（提供計画に記載した科学的妥当性の評価
方法に沿って記載）

0 件のため非該当。

【指摘事項】

特になし。

【意見】

定期報告書類を出席委員が確認し、委員会として定期報告を適正と判断し、次年度継続提供も適正と判断した。

審査等業務の過程に関する記録

医療法人社団優恵会特定認定再生医療等委員会

1. 開催日時・場所

日時：2026 年 6 月 19 日（金） 20：40～20：50
場所：東京都品川区西五反田 4-31-17 MY ビル 4F 医療法人社団優恵会及び Web

2. 出席者

氏名	特定再生医療認定 委員会の場合	第三種再生医療等提供 計画のみに係る審査等 業務を行う場合	男女	出欠席
井上 肇	②再生医療等	a-1. 医学・医療 1	男	○
寺村 岳士	②再生医療等	a-1. 医学・医療 1	男	×
大島 秀男	②再生医療等	a-1. 医学・医療 1	男	○
村上 富美子	③臨床医	a-2. 医学・医療 2	女	○
廣瀬 嘉恵	③臨床医	a-2. 医学・医療 2	女	○
市橋 正光	③臨床医	a-2. 医学・医療 2	男	×
矢澤 華子	①分子生物学等	a-2. 医学・医療 2	女	○
高浦 彩那	④細胞培養加工	c. 一般	女	○
住江 玲奈	④細胞培養加工	c. 一般	女	○
井花 久守	⑤法律	b. 法律・生命倫理	男	○
相羽 利昭	⑥生命倫理	b. 法律・生命倫理	男	○
井上 永介	⑦生物統計等	c. 一般	男	○
山崎 美千子	⑧一般	c. 一般	女	○

※1 再生医療等の安全性の確保等に関する法律施行規則(平成二十六年九月二十六日厚生労働省令第百十号)改正後第六十三条の規定する開催要件を充足している。
※2 役務提供者は本審議には参加していない。

3. 技術専門員

該当なし

4. 再生医療等提供計画を提出した医療機関の名称・管理者

医療法人 N クリニック
中里 伸也

5. 議題（区分）
再生医療提供計画の審査（定期報告）

6. 治療/研究名・分類
脂肪幹細胞を用いた変形性関節症に対する再生医療

7. 審査書類の受領日
2026 年 5 月 13 日

8. 議論の概要と意見

脂肪幹細胞を用いた変形性関節症に対する再生医療

【議論の概要】

1. 再生医療等に関わる疾病等の発生状況及びその後の経過
当該技術に因果関係を有する疾病等の発生は報告されなかった。
2. 再生医療等に関わる不適合の発生状況及びその後の経過
不適合は報告されなかった。
3. 再生医療等の安全性についての評価
当該再生医療技術に因果関係を疑わせる、または因果関係を認める有害事象を認めず、一定の安全性を有していたとの報告があった。
4. 再生医療等の科学的妥当性についての評価（提供計画に記載した科学的妥当性の評価方法に沿って記載）
KOOS による評価を行った。
関節内投与 2 例はいずれも 6 ヶ月後の経過観察中であり次期報告に持ち越す。
関節内+骨内同時投与は 10 症例の評価が可能であった。Pain・ADL・QOL において改善率 90%、Sports & Recreation で 70%、Symptom で 80%と、全サブスケールにわたり高い改善効果が確認された。残り 13 症例は次年度報告となる。
全例有害事象は認めず当該再生医療は一定の有効性を有していると判断した。
前項の通り、再生医療等は安全性を有していると考えられ、再生医療等の有効性と安全性が治療におけるリスクを上回り、再生医療等は科学的妥当性を有していると評価した。

【指摘事項】

改善率の「改善」に「改善+著効」を追記すること。

【意見】

定期報告書類を出席委員が確認し、委員会として定期報告を適正と判断し、次年度継続提供も適正と判断した。